

新しい年、2016年も あっという間に ひと月が過ぎ、ふと 周りのあちこちを見回しますと 木々の 小さな芽が いつの間にか ふくらみ、窓からの 陽射しの柔らかさにも 季節の移り変わりを感じるこの頃です。暦の上では 春を 迎え、今年度の歩みも 残すところ あと2か月となりました。今年は 暖冬と言われているにもかかわらず、各地での 突然の大雪に驚かされましたが、つのぶえは 今頃になり インフルエンザが 猛威を振り出しました。特に、乳児クラスで 大流行しておりまして 先週末、子どものみならず 担任達が次々とダウンしてしまっております。皆様には 多大な御迷惑をおかけしておりますが、温かな御理解と御協力を頂いておりますこと 一同 深く 感謝申し上げます。

イエス・キリストは、30歳になられた時、神様に導かれ、それまで暮らしていたナザレの町を出て 父親と共に働いていた 大工を辞め、人々へ 神様の御業や 御言、何よりも 神様の深い愛を 伝えるために 指導者(伝道者)の仕事を 始めることになります。けれども、神様は その新しい歩みの前に 「高い山に登り、ひとりで祈り続けなさい」と 何も無い 荒野の中、四十日四十夜の断食をしながら たったひとりで 神様と向き合うよう 告げられます。空腹と 睡魔、そして 孤独の闇に襲われる中人としての あらゆる欲や 邪念と 闘いつつ、ただひたすら 懸命に 祈り続けている イエスさまのところへ 悪魔が やって来ました。悪魔は 神様の偉大さを 誰よりも 知っており、畏れていました。イエスさまが 神様の貴いひとり子であること、また これからの働きについても 承知していました。悪魔は これから 神の子として生きようとしている イエスさまの心を 何とかして墮落させようと 巧みな言葉で 3つの誘惑を ささやきます。

- ① あなたが 神の子なら 目の前に 転がっている石ころを パンに変えて 空腹を満たしてみなさい。
 - ② この山から 飛び降りてごらんなさい。あなたが 神の子なら きっと神様が 救ってくれるはず。
 - ③ わたしに ひれ伏して拜んでみなさい。そうすれば この世界を 全部 あなたに あげよう。
- けれども イエスさまは これらの誘惑に対し、すべて 聖書の御言を用いて きっぱりと退けました。

- ❶ 人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るひとつひとつの言葉による。(申命記8:3)
- ❷ あなたの神である主を 試みてはならない。(申命記6:16)
- ❸ あなたの神である主を 拝み、主にだけ仕えよ。(申命記6:13)

この御言に 悪魔は 即座に離れて行き、悪魔の誘惑に勝ったイエスさまは 神様から祝福されました。

子ども達は この『悪魔の誘惑』の聖書のお話が 大好きです。イエスさまが 悪魔から どんなに 甘い囁きで誘われても 御言を楯にして、はっきり、見事に 断つことが出来た姿を 喜び 誇らじげに 夢中で 聞いている様子から、子ども達は 悪魔という存在を 架空の 不思議で 稀なものではなく 元々 自分たちの心の中に在るものとして ありのままに受け入れているのだと 感じます。

3日の節分には、保育園のあちこちから「オニは 外～！ふくは 内～！」と元気な声が 響き渡り それぞれのクラスで 豆まきを楽しみました。園庭にいる 段ボールで出来た 大きな大きな鬼たちを 目掛けて 真剣な顔つきで 力いっぱい 何度も 豆をぶつけては やっつけていました。そのあとの 給食では 恵方巻・大豆入りサラダ・鰯のつみれ汁 の 身体の中の「鬼退治」最強★節分メニューを 堪能し「これで オニは来ないよ！ もう だいじょうぶ！」と 安らいだ笑顔で 自分に言い聞かせる ように うなづいていた子ども達です。そんな 正義感あふれる 可愛らしい姿を 微笑ましく見守りながら「きっと 子ども達には 鬼も あの“悪魔”と同じように捉えているのだろう」と思いました。目に見える 怖い 鬼の存在の外に、決して見えないことのない それぞれの心の中にも 鬼(悪)がいる ことを 自覚しているに違いありません。悪魔も鬼も フィクションではなく 私たちの中に潜在し 常に闘い続けなければ 支配されてしまう “罪” の象徴であることを 子ども達は 無意識のうちに 受け入れているのだと思います。人は 生まれた時から、そして、こんなに幼く 未熟な頃から すでに、自らの心の中の 様々な想いと 葛藤しながら 生きていることに 気づかされ 人の心の不思議さを 思わされていますが、だからこそ 幼い頃から 自分の命の源であり すべてを 知ってくださる 神様を信じ 自らの想いをゆだね どんな誘惑をも退けようと願い祈れる 毅然とした勇気ある心を 大切に育てていきたいと思っています。世界中の人々の心に 神様の平安が 注がれますように祈りつつ。

「あなたの 若い日に、あなたの創造者を 覚えよ。(旧約 伝道者の書 12:1)」 (石田 記)